

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	利用者ごとの支援の配慮事項を共有されており、統一した支援が行えています
	内容	事業者は2名の常勤職員がローテーション勤務にて支援を中心的行っています。サービス管理責任者が利用者一人ひとりに「各利用者配慮事項」を作成し、利用者の出勤前（起床時）と帰寮後に行う支援内容と配慮事項のマニュアル化を図っています。また職員会議では個々の利用者の近況や支援状況の情報交換が図られており、議事録にて確認することができます。これらの記録を活用し職員によって支援の過不足がないよう支援の標準化が図られています。
2	タイトル	利用者の気持ちやプライバシーに配慮した支援を行っています
	内容	グループホームは全室個室で一人ひとりのプライバシーが保てる空間になっています。支援する職員も入室時は必ずノックをして許可を得てからの入室すること、個人の話は他の利用者の前ではしないことを徹底しています。また、入浴に支援が必要な利用者には同性の職員が支援を担当し、入浴する順番についても利用者の希望を尊重して行っています。利用者へのアンケート結果でも、「気持ちを大切にしながら対応してくれている」「プライバシーを守ってくれている」という質問に対し、全員がはいと回答しています。
3	タイトル	利用者の特性に合わせたコミュニケーション方法に工夫がされています
	内容	利用者一人ひとりの活動の予定を把握しています。その上で利用者と活動の予定を共有して必要な支援を行っています。カレンダーに予定を書き込み、いつでも確認できるようにしています。文字の読めない方には絵カードを使って貼り付け、分かるように配慮しています。また、利用者の特性に合わせ写真や絵カードを作成し、至る所に掲示してコミュニケーションが取れるようにされています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	利用者のグループホームでの一人の時間の過ごし方については、更なる支援を期待します
	内容	事業所は、利用者が気持ちよく過ごせるよう、利用者の意見や気持ちを汲み取りながら支援を行っています。事業所内の生活のルールを一律に定めず、各利用者の配慮事項を作成し、それに沿った支援が行われています。利用者が自由な生活時間を損ねないように好きなことをして過ごせることを大切にしつつ、職員からもCDによる音楽鑑賞やPCの活用等を提案し、余暇時間の広がりを支援しています。更なる、利用者の日中活動以外の趣味や余暇時間の選択肢の提案や支援について期待します。
2	タイトル	事業継続計画を策定し整備しています。今後の周知と実効性ある計画に期待します
	内容	事業所は、災害時及び感染症発生時における事業継続計画（BCP）を策定しており、グループホームだけではなく法人全体での協力連携を行う危機管理体制を整えています。日常的にも災害を想定した避難訓練や、利用者、職員の手洗い、うがいの徹底による感染症対策を講じています。自然災害に対する備えは、社会的にもリスク管理の重要性が高まっており、より実効性のある事業継続計画にするために職員の周知、地域の関係団体との協力関係の更なる構築を期待します。
3	タイトル	薬の出入りが明確になるような記録様式の作成に期待します
	内容	体重測定や体温測定、血圧測定が必要な利用者には毎日測定を行い、記録しています。利用者の健康状態に注意し、相談にも応じています。また、服薬に誤りがないように個別に持参した薬箱を確認して、その都度渡して服薬してもらっています。服薬状況については、誤りがないよう日誌に記録してチェックしています。今後服薬管理が定着するようであれば、薬の出入りが明確になるような記録を作成予定ですが、今後の服薬支援のマニュアル作成や記録様式の整備に期待します。